

ほすびっ人



創造には勇気が必要だ

アフリ マティス

NO.297

令和に生きる



迫田 耕一郎

社会医療法人耕和会
社会福祉法人耕和会
院長・理事長

平成は31年4月30日で終わり、5月1日から令和元年が始まる。団塊の世代も、その殆どが3つの時代を生きることになる。第2次世界大戦に遭遇しなかった運と先祖のお蔭で生き延びている。平成に生まれ平成に召された命がある。明治・大正・昭和・平成に生まれ令和まで生きる命もある。命は短くも長くもある。天寿を全う出来れば良いが、戦争に駆り出され、交通事故や医療事故に巻き込まれ命が失われる。政治家が医療従事者や無謀運転者が殺人者になる瞬間である。命の謳歌とバトンタッチ、そんなことを考える年になった。

採用された「令和」という元号を「令」と「和」に分けて国語辞典で紐解いてみた。“れい”と読まれる漢字は令・冷・鈴・零・齡・嶺・礼・例・麗・靈・隸・励・涙がある。レイはハワイ諸島でお客様を歓送迎する気持ちを表す首や頭にかける花束。礼はそれぞれの社会で習慣化された規範形式、感謝と敬意を表すおじぎ、目礼、敬礼、礼服などがある。

さて“令”するとは、言いつける、命令するという漢語的表現である。徴税などの行政処分を言い渡す書類を令書（れいしょ）、勾引や家宅捜索・差し押さえなどの強制処分を行う時に裁判所が出す命令や、警察が逮捕など強制処分をする時に裁判所が出す許可書を令状（れいじょう）という。昔の軍隊は命令として在郷軍人を招集した、これが召集令状（しょうしゅうれいじょう）である。奈良・平安時代には律と共に国の根本を成す掟（法令）として大宝律令（たいほうりつりょう）が発効された。命令や掟という令は嫌な印象である。

しかし敬称として使われる令もある。令閨（れいけい）令室（れいしつ）＝令夫人 令嗣（れいし）＝他人・相手のあととり 令嬢（れいじょう）令息（れいそく）＝他人・相手の娘・息子 令孫（れいそん）令姉（れいし）令妹（れいまい）令弟（れいてい）令兄（れいけい）などである。令名（れいめい）も使ってみたい言葉、あなたは（のお名前は）評判が良い、あなたは優れた存在ですという意味で「令名はかねてから伺っております」「令名が高い」などは善い言葉である。また令旨（れいし）とは皇后・皇太子・皇族のお言葉、これは麗しい言葉である。好ましくない令の例に令色（れいしよく）がある。こびへつらう顔つきのこと。「巧言令色鮮（すくな）し仁」に使われている。言葉巧みに人の気を引き誰にでもいい顔をして見せるような人に仁徳の備った人はいない、という意味である。

“わ”と読む漢字は和・倭・話・輪・環・羽・把・我がある。「わ」は相手にお前さんと言う親愛の情を表す接頭語、婦人に、わ御料・わ御前、男性で同等と認められるものに、わ主・わ殿と使われる、わ子もある。

さて“和”とは相手の言い分や立場を大幅に認め、譲れるものは譲り合うことである。協調的な関係を保てるように譲る、それが和である。戦争を終結させるために相手に大幅に譲歩するのが講和条約。倭（和）は昔の中国や朝鮮がわが国を指した呼び名。温和・柔和・和解・和合・平和・付和雷同・和気など、おだやか・のどか・和らぐという意味でつかわれる。二つ以上の数字を加えた値も和。音楽で調子を合わせるのを和音・和声。

日本式という意味で和歌・和紙・和服・和裁・和書・和菓子・和漢洋。和訳・和英・英和・漢和あり。話術・会話・対話・電話・話題・神話・民話・童話は話すという意味。輪も「わ」である。

次の「わい」になると歪・賄・猥雑・猥褻など「和」とは及びもつかないものになる。

さて令和とかけて何と解く。昭和40年代と解く。その心は掟の下に経済が高度成長した、親や先輩や友人に感謝し、礼を尽くし、譲歩した。学生は質屋の掟を守りアルバイト、華やかな学生生活であった。さて令和をどうしよう。

規律は穏やかに和を耕すが良し、そう念じている。

「ほすびっ人」

発行一 社会医療法人耕和会
企画・編集一 耕和会本部 広報室



〒880-0917
宮崎県宮崎市城ヶ崎3-2-1
EMAIL:info@kowakai.jp
https://www.kowakai.jp

平素より耕和会をご利用いただき誠にありがとうございます。令和元年5月号より「迫田病院だより」は「ほすびっ人」に改称いたします。開業から6年目の平成5年10月に創刊。“患者さまが安心して何でも相談が受けられる病院づくりを目指していきたい。”そんな想いから始めた一枚の小さな病院広報誌でした。創業より31年、原点を忘れず志を立て、常に初心を持ち続けながら、ご利用者の皆さまの一生に寄り添える耕和会を目指してまいります。「ほすびっ人」はホスピタル（病院）のドイツ語'ホスピット'と'人'を組み合わせた造語です。耕和会の愉快的仲間たちが一丸となり、地域のみなさまとともに手を携えて歩む姿を表しています。

